

平成 18 年 10 月 21 日(土)～24 日(火) 開催

いよいよ「スポレク鳥取2006」の開催の年になりました。鳥取大会の成功に向けて、関係団体と連携して準備を進めています。今号から、シリーズで鳥取市で開催される7競技の見どころなどを、各種目団体のみなさんに紹介していただきます。



壮年サッカー 往年の名選手も参加！



(財)鳥取県サッカー協会
かじかわ まこと
梶川 誠 さん

「壮年サッカー」に選手として出場できるのは、50歳以上の人です。フィールドの広さやオフサイドなどのルールは一般の公式戦と変わりませんが、試合時間は40分(前半20分・後半20分)で、通常のボールに比べ少し軽めのものを使用します。

また、公式戦では交代人数は3人程度に限られるのが普通ですが、壮年サッカーでは交代は自由です。このように、試合時間・交代・ボールの重さなど、選手への負担は軽くなっていますので、試合は明るく和やかな雰囲気の中で行われます。

その一方で、かつての日本代表選手が参加することもあり、華麗なプレーや、迫力あるプレーも見ることができます。社会人になってから始めた人も、かつてプロレベルの選手だった人も、一堂に会して繰り広げられる「壮年サッカー」。サッカーの醍醐味だいごみと和気あいあいとした雰囲気を、ぜひ会場で体感していただきたいと思います。

問い合わせ先 全国スポーツ・レクリエーション祭推進室
(文化センター内・吉方温泉三丁目) ☎(0857)27-8001

医療通信

Vol.33

子宮癌検診について

今回は、子宮癌についてお話しいたします。今から5年前の12月、ある女性タレントが「病名は、ガンでした。子宮頸部のガンでした。恥ずかしながら積極的に婦人科検診に行ってください」と涙ながらに訴えていた衝撃的な会見を、テレビで見られた人も多いかと思います。

子宮は、入り口の頸部とその奥の体部と呼ばれる部分に分かれており、子宮の入り口にできる癌を“子宮頸癌”子宮体部に出来る癌を“子宮体癌”と言います。

子宮頸癌は子宮体癌に比べ若い世代に多く、20歳代でもなる可能性があります。一方、子宮体癌は閉経後の女性に多いと言われています。かつて日本では子宮癌と言えばほとんどが子宮頸癌でしたが、近年食生活の欧米化などの理由により子宮体癌も増えてきています。どちらも初期には全く

と言っていないほど自覚症状はありません。

また、子宮頸癌はHPV(ヒト・パピロマーウイルス/乳頭腫というイボをつくるウイルス)の感染が原因の一つと言われています。そしてこのウイルスは性交渉によって感染します。つまり年齢に関係なく性交渉の経験があれば誰でもこのウイルスに感染する可能性があります。また性交渉の若年化などにより、ますますウイルスに感染する機会が増えており子宮頸癌の若年化が進んでいます。専門家の中には性交渉を経験したら癌検診を受診することが望ましいとの意見もあります。

20歳を過ぎたら一度、子宮癌検診を受けてみてはいかがでしょうか？



市立病院
長治 誠
産婦人科医長

■問い合わせ先
市立病院総務課 ☎(0857)37-1522